

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37300004
授業科目名(Course name)	声楽（４）		
担当者(Instructors)	三輪 陽子		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音 2 声	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	後期 木曜 2 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
さまざまな作曲家や音楽様式の作品を演奏するためには、正しい発声の会得や発音、そして詩の解釈は必要不可欠である。この授業では個人レッスンでベルカント唱法を理解していき、歌唱時の姿勢や呼吸、息の運び方など、基礎的なことを基に、自分の体と心に向きあいながら、無理のない自然な声と、更に、それを伴う且つ楽曲に適した音楽表現を探究していく。

■到達目標(Course goals)
イタリア近代作品を基に、ベルカント唱法の研究と基礎能力を修得している。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。○
2. 汎用的技能 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。○

■授業計画(Lesson plan)
1. ドナウディ 歌曲研究 1 『O del mio amato ben』 ドナウディのカンタービレと表現 1 楽曲研究
2. ドナウディ 歌曲研究 2 『O del mio amato ben』 ドナウディのカンタービレと表現 2 実践
3. ドナウディ 歌曲研究 3 『Vaghissima sembianza』 ブレスと音楽表現 1 楽曲研究
4. ドナウディ 歌曲研究 4 『Vaghissima sembianza』 ブレスと音楽表現 2 実践
5. ドナウディ 歌曲研究 5 『Sento nel core』 短調から長調への音楽表現 1 楽曲研究
6. ドナウディ 歌曲研究 6 『Sento nel core』 短調から長調への音楽表現 2 実践
7. ドニゼッティ 歌曲研究 1 『Eterno amore e fè』 イタリア・ベルカントオペラへの学習に先駆けて 1 楽曲研究
8. ドニゼッティ 歌曲研究 2 『Eterno amore e fè』 イタリア・ベルカントオペラへの学習に先駆けて 2 実践
9. ドニゼッティ 歌曲研究 3 『Me voglio fa 'na casa』 ボルターメントの音楽表現
10. ロッシーニ 歌曲研究 1 『La promessa』 ロッシーニの音楽研究 1 楽曲研究

11. ロッシーニ歌曲研究2 『La promessa』 ロッシーニの音楽研究2 実践
12. ロッシーニ歌曲研究3 『Il rimprovero』 転調における音楽表現
13. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～お互いの呼吸を感じて～
14. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～試験を心がけて～
15. 授業内実技試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
授業時間で見つけた課題を日々の練習や研究で達成していく。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
授業内で先回の課題が達成されているか、また次回までの課題を確認する。 フィードバックは授業時に随時対応する。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
コンコーネ50番、パノフカ、ヴァツカイなどの声楽教則本 トスティ、ベッリーニ、ドナウディ、ドニゼッティ等の歌曲集 ＊学生の技量と進度に応じて

■評価方法(Evaluation method)
実技試験 70% 授業への取り組み 30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業時間前後やKmail等で随時受け付ける